

プレスリリース

2008年9月8日
マイティカード株式会社

マイティカード、RFID エンタープライズプラットフォームの SaaS サービス 「RFID Enterprise 2.0」を試験・評価利用者向け無償提供開始 ～ RFID 導入に向けた多拠点間実験の大幅費用削減を実現～

マイティカード株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:株本 幸二、以下 マイティカード)は、RFID エンタープライズプラットフォームの SaaS^(注1)サービス「RFID Enterprise 2.0」を、9月8日よりサービス開始致します。まずは、本格的導入前に運用試験を検討されているお客様向けに無償で提供致します。^(注2)

「RFID Enterprise 2.0」とは、RFID を用いたアイテムレベル RFID システム^(注3)のプラットフォームソリューションとして実績のある TrueVUE RFID Platform^(注4)のエンタープライズソフトウェアである Enterprise Manager と Commissioning(両製品共、2008年9月8日発表)を SaaS 型のサービスとして提供するものです。物流資材(RTI)管理のみならず、商品などのアイテム一つの個品管理にもお使い頂けます。

TrueVUE RFID Platform とは、RFID を用い、サプライチェーンを流れるあらゆるモノの動きを可視化し、売上向上・業務改善を図るためのプラットフォームです。このプラットフォームは、RFID システムに必要なハードウェア・ソフトウェアから構成されます。TrueVUE RFID Platform は、UHF 帯のアイテムレベル RFID システムとして、世界初のトータルソリューションパッケージであり、世界各地で導入が進んでいます。

Enterprise Manager は、各拠点に設置される Site Manager を通じ、RFID 機器により読み取られた商品の情報を、複数の拠点から集約・管理する上位ミドルウェアです。Enterprise Manager では、拠点毎はもちろん、各拠点内のゾーン(棚・売り場など)の在庫情報を個品毎に提供することができます。さらに、各拠点に設置されたリーダーライタやアンテナ一つの RFID 機器のリモート管理・リモート監視を集中的に行うことができ、拠点毎の IT 管理者を必要としません。

Commissioning は、分散された各拠点でユニークな番号の発行・管理を行います。また、Commissioning は TrueVUE RFID Platform の中で、発番されたユニークな番号と商品情報のテーブルを集中管理し、トラック&トレース機能も有します。

今回、マイティカードは、複数拠点での試験運用で必要となるプラットフォームを提供することで、本格導入までのコスト削減、期間短縮を実現されたいユーザ、システムインテグレータの皆様を強かにサポートいたします。

当社としては RFID Enterprise 2.0 により、ユーザの方々に、資産管理・業務効率の改善、売り上げの向上等、RFID 導入による非常に大きなメリットを、より身近に感じていただけると確信しております。

是非この機会に当社製品を利用した RFID ソリューションをご検討ください。

【RFID Enterprise 2.0 サービス開始の背景】

UHF 帯 RFID を導入する際、本格導入に向け、実証実験、試験運用を行うことが一般的です。この際、大きな課題となるのが、実証実験およびパイロット運用などで用いるシステム構築の費用で

す。本格導入時の効果測定を目的とする試験運用に、大きなコストが必要となれば、必要かつ妥当な試験内容であっても予算確保ができなかったり、必要以上に時間や労力が必要となることが少なくありません。このような導入障壁をできる限り小さくするよう今回、RFID Enterprise 2.0 の提供を開始することと致しました。

【RFID Enterprise 2.0 サービスの特長】

- ・ 基盤システムの SaaS 提供(無償)によるコスト削減
- ・ 運用開始までの期間短縮
- ・ 多拠点に点在する RFID 機器の一元管理 (リモート設定含む)
- ・ 多拠点のデータの収集・一元管理
- ・ 標準レポート機能による多彩な表示 (有償にてカスタマイズ可)
- ・ 各種業務アラート
- ・ ALE1.0 を用いた業務アプリが開発可能
- ・ 開発資産の本格導入時のシームレスな移行
- ・ ユニーク ID の各拠点での発行管理
- ・ 商品のトラック&トレース

また、試験システムの導入コスト・期間の圧縮効果をより大きくするために、試験導入に必要なハンディリーダーなどの RFID 機器や、入荷検品や棚卸といったワークフローに向けたアプリケーションソフトなどのレンタルプランもご用意しております。

記載の商品名は、商標または登録商標です。

注1) 「SaaS」

SaaS (Software as a Service の略、ソース)とはソフトウェアをサービスとして提供する ASP 型ソフトウェア販売の新しい形。従来のライセンス販売と違い、インターネットを通じてソフトウェアの機能が提供され、ユーザは必要に応じ各機能を利用し、ベンダーはそれぞれの利用に対し、期間使用料として収入を得るビジネスモデル。

注2) 「RFID Enterprise 2.0」のご利用には、試験・評価利用向けに無償提供される Enterprise Manager と Commissioning の他に、それぞれのソフトウェアの設定費用が必要となります。また試験・評価利用時の無償提供期間は 3 ヶ月を想定とします。

注3) 「アイテムレベル RFID システム」

RFID を用いて、従来の SKU などの商品種ごとではなく、個品(シリアル)単位で識別するシステム。次世代バーコードとして期待される UHF 帯 RFID は、その運用効果の革新的向上をもたらすアイテムレベル RFID システムの実現を目指して各規格作りが進められている。

注4) 「TrueVUE RFID Platform」

TrueVUE RFID Platform の概要は、2008 年 9 月 8 日発表のプレスリリースをご参照ください。

このリリースに関してのお問い合わせ先

マイティカード株式会社 担当:営業・マーケティング本部
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-12-18 渋谷南東急ビル 5 階
TEL:03-5466-0510(代表) FAX:03-5466-0515
e mail: info@mightycard.co.jp URL: <http://www.mightycard.co.jp/>

[参考資料]

TrueVUE RFID Platform 製品構成図および RFID Enterprise 2.0 のサービス提供範囲

